

学校教育目標	信頼と共感 ～夢をもって挑戦し続ける生徒たち～ ◇育てたい生徒像◇ 【知】自ら考え行動し、意欲的に学び続ける生徒 【徳】ルールやマナーを守り、人を思いやる優しい生徒 【体】心身をきたえ、たくましく生きる生徒 【公】役割を自ら求め、地域や社会に貢献する生徒 【開】共生・多様性を尊重し、未来を創る生徒			
	創立 78 周年	学校長 増田 友昭	副校長 柏木 次郎	3 学期制 一般学級: 14 個別支援学級: 3
学校概要	児童生徒数: 552 人 主な関係校: 中川小学校、南山田小学校、牛久保小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中川中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・得た知識を生かして、自ら考え判断し、行動する力 ・意欲をもって、主体的に学び続ける力 ・多様性を尊重して、共に生きようとする力 	中川中学校 中川小学校 南山田小学校 牛久保小学校	自分も他者も大切にしながら、豊かな学び合いができる子ども ・「よりよい人間関係を築くために必要な力」育成のためのキャリア教育の充実。 ・「自ら考え、判断と行動ができる力」や「主体的に学び続ける力」の検討と共有。それらを意識した研究授業の推進。 ・個に応じた指導体制づくりを進めるための、児童生徒指導や特別支援教育の情報交換と研修の推進。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が主役となる学校づくりを進める中で、生徒の自尊感情を育てる教育環境を整え、「信頼と共感」を教育活動の根幹にします。 ○生徒が主体的に参加する、わかりやすい授業づくりを実践・推進します。 ○生徒が安心して学校生活を送ることができるように、ルールやマナーに関する規範意識を高め、生活指導の充実、人権尊重の精神を基盤とする学校づくりを進めます。 ○小中一貫教育を推進する中学校区ブロックや地域・学校との連携を図り、生徒が地域で活躍し信頼される「地域の学校づくり」を進めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 学習指導部	①生徒に身に付けさせたい力を指導者が明確にもち、授業では目標や評価規準、学習課題を生徒に分かりやすく提示するとともに、確実に力が身に付く授業展開を工夫して、主体的・対話的で深い学びを実現する。 ②教育DXの研究を進め、GIGA端末やAI型教材等の活用による教育効果を実証的に高める。
徳 豊かな心 担当 学習指導部 道徳	①道徳年間計画に基づき、各学年で特別な教科・道徳の授業研究を進めるとともに、別葉を活用して教育活動全体で生徒に豊かな心を育む。 ②「Pay Forward」の考えを柱として日々の実践に結び付け、学校の内外に根付かせ、広げていく。
体 健やかな体 担当 保健指導部	①身体計測・新体力テストの実践を通して自分の体や体力について知り、自らの健康の保持増進や体力の向上につなげる。 ②心身の健康の保持増進のために教育活動全体を通じて学習できるよう教科や特別活動との連携を図る。
公 特別活動 担当 特活指導部	①「Pay Forward」と「Greeting Day」の二本柱を中心に、生徒どうしの継続的な活動を通して、一人ひとりの自主性を育成する。 ②生徒会本部と各委員会の連携を活性化させ、共同で取り組む活動の充実を図る。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①引き続き、いじめ防止対策委員会で情報を共有し、記録を取り、進捗を管理する。保護者との共通理解や外部機関との連携を積極的に活用する。 ②いじめ防止や危機管理の研修を実施し、教職員の知識理解や対応力を高める。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務部	①授業の研究・改善・指導と評価の一体化を中心に据えつつ、メンター研修及び教育活動、学校運営に関わる様々な実践を幅広く活用して、すべての職員が目標をもって力を伸ばす。 ②会議の時間短縮等にくわえ、国や市の施策を踏まえた教育課程、日課表の在り方を追究する。
児童生徒指導 担当 生徒指導部	①教育相談のアンケートなどを活用し、相談活動の充実を図る。 ②Y-Pアセスメントの実施時期を工夫し、生徒の実態や変容を捉えられるようにする。 ③生徒指導の研修を実施し、教職員の資質が高められるよう、計画、運営を行う。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	①個別支援学級と特別支援教室、一般級の状況を常に把握・共有し、効果的に生徒の支援を行う。 ②個々のニーズに対応できるよう、特支Coが中心となって、組織的な支援体制を確立する。 ③支援体制の充実を図るため、教職員の研修を実施する。
地域連携 担当 渉外部	①引き続き、学校だよりや学校ホームページを通して、学校の様子を伝え、地域の理解と信頼を深めていく。 ②社会情勢をふまえつつ、生徒が地域社会の一員として主体的に活躍できる場を建設的に調整する。
学校運営協議会 担当 学校運営協議会事務局	①小中ブロックで運営協議会を持つことで、広く地域とのかかわりを持ち地域連携の充実を図る。 ②キャリア教育のまとめとして3学年の卒業期に行う「自分を語ろう」で委員が助言者として立ち会う。 ③地域学校協働本部とともに活動することで、地域人材の発掘を行う。